

分苑たより

なごみ

大本
名古屋分苑

分苑長

葉月 月次祭挨拶

こんにちは

先ほどは、葉月月次祭を皆様とともに清々しく執り行わせていただきました。

愛知県も再度コロナウイルスまん延防止措置が出され、また、猛暑と豪雨にもかかわらず皆様ご参拝いただきありがとうございました。

この度、山田分苑長の後を受け小生、高嶋善雄が分苑長の要職を引き継ぐことになりました。

私のような若輩者が、皆様のお世話をさせていただくには皆様のご協力とご教授がなくては活動は全くできません。

皆様の声を傾聴し、皆様と共に分苑活動に努めさせていただきたいとおもっておりますのでどうぞ宜しくお願いいたします。

今回の役員改選に伴い総務

部長兼次長に瓜生秀明様・祭務部長に飯田和彦様・財務部長に近藤哲史様・宣教部長に川地貴子様の協力を得て執行部の運営に当たってまいります。

現状名古屋分苑はコロナ禍で参拝者の数が激減しています。また、祭典では祭員の人数も減らして対応しています。

がコロナが終息し、平常に戻っても以前のように祭典ができるか、また若年層の参拝者もゼロに近く今後が懸念されます。

一日も早く平穏な日常生活に戻り、安心してご参拝できる日が来ることを日々お祈りさせていただきます。

最後になりましたが、分苑長という重責を担うことは神様からいただいた自分自身のみ魂磨きと修行であることを肝に銘じて神様の御用に仕えさせていただきます。

「和合と祈り」の場である名

古屋分苑でのご参拝が皆様にとりまして心とむ参拝となります。ますことを願っています。

「みんな

心とむあいさつ

こんにちは
ありがとうございます

を実践し、明るい分苑づくりをすすめていきたいと思います。

本日はご参拝ありがとうございます。

行事報告

●瑞生大祭遙拝祭

月始祭

八月七日（土）

参拝者 九名

齋主

進行

小林 清人

五十川 松子

●月次祭

八月十五日（日）

参拝者二十二名

齋主

祭員

祭員

進行

伶人

瓜生 秀明

伊藤久仁男

畠山 茂

影近 博己

飯田 直美

●分所長・支部長・役員

研修会

八月二十九日（日）の午後一時から四時半まで開催された。参加者十二名。

妹尾特任による講話「今できる事、今しなければいけない事」を受講した。その後、参加者十名が分所・支部の活性化、お世話活動の実践などのテーマ発表を行った。コロナ感染防止のため、半日の開催となったが、充実した研修会となった。



妹尾特任による講話



テーマ発表

直心会 新役員の紹介

次のように決まりましたのでよろしくお願い致します。
名古屋連合会

会長 堀 和子

副会長 森 悦子

副会長 飯田 直美

会計 森 テル子

監査 加藤 登茂栄

行事予定

九月十一日（土）

全国一斉世界平和祈願

九月十九日（日）

月次祭・長寿祈願祭

午前十時半より

九月二十五・二十六日（土日）

祭式講習会

講師 本部 森 祭務部長

十月二日（土）

月始祭 午後一時半より



テーマ発表

環境問題を考える その③

特任宣伝使 妹尾 正治

私たちは呼吸し、水を飲み、食物を食べる事が当たり前になっています。科学の進歩により地球の裏側の人と会話が出来たり海外へでも日帰りで旅行が出来る様になりました、その反面、生命の基の『月日と土』へのご恩が薄れて来ている様に感じられます。地球が出来て46億年、生命体

た地球環境を、今自分の手で破壊しようとしています。今回、子供向け絵本「地球がうみだす 土のはなし」を紹介致します。主人公はコナラの木、土（土壤）が長い年月と沢山のいのちで作られ沢山の命を守っている事を優しく話しかけてくれます。（福音館書店）

『李登輝、日本を愛しぬいた稀代の政治家』後編 山田謙三

李登輝の最高指導者の条件続き

⑦権力とカリスマ。権力とは、困難な問題の解決や理想的計画を執行するための道具にすぎない、それは一時的に国民から借りたもので、仕事が終わればいつでも返還すべきものである。指導者は国家と国民に対して忠誠心を持ち、あらゆる面で謙虚であらねばならない。

⑧伝統がもたらす信念、日本の心、伝統を大切に、そして信念を持つこと。武士道、品格重視、内面的・精神的な信念。

⑨勇気と義、心の平静、忍耐力。危急存亡の時に求められる心の平静さ。

⑩決断力、大局的な判断と信念。総合的判断、大所高所からの判断、長期的な発展を考えて判断、最終的な決定を下すのは指導者自身である。強い決意と固い意志、道徳的な勇気が重要。

⑪愛国心の涵養。忠義なくして名誉はありえない。個人と国家は全体と個、個がなくては体は成り立たない一方、全体があつてこそ個は存在しうる。健全な愛国心や忠義の心が必要である。個人主義と自分勝手主義は違う、公を大切にしない私はありえない。人づくりには時間がかかる。戦前の日本の教育はすばらしかったと感謝している。

⑫誠実に説く。誠が大切、言ったことはやりぬく。お願いの姿勢。愛とは心を尽くして公のために尽くす気持ちのことで「博愛」を指す。誠と愛。

⑬忍耐力。聖書「コリントの使徒への手紙」愛は寛容にして慈悲あり、愛は妬まず、愛は誇らず、驕らず、非礼を行わず、己の利を求めず、いらだたず、人の悪を念じず、不義を喜ばずして、真理の喜ぶところを喜び、おおよそ事信じ、おおよそ事望み、おおよそ事耐うるなり。相手の身になって考え、自分の利を求めず。

⑭側隠の情。相手の気持ちを付度できるよう、広く深い愛情に裏打ちされた「思いやりの心」。

⑮想像力。指導者は、自らに対し高い要求持ち、それに応じた高い理想と目標を掲げる責務を背負っている。組織全体の未来と発展に益するものでないといけない。

⑯未来への提言力。将来にたいするビジョンを持ちリーダーシップを発揮すること。教育改革、国家はなによりも人間。精神改革。公民という意識づくり。

李登輝は、日本精神により「人間の生きる価値を公に尽くすことにある」と定め、信仰により「自分自身の中に神を宿すことにより、無償の愛で他者を許し、他者に思いをいたすことができる」とした。台湾の民主化の父と称される李登輝は、台湾の民主化が成功したのは日本のおかげ、日本の教育だ、人間の価値はどれだけ『公』のために尽くせたかにあるとしている。

年前。そして人類はわずか500万年前に出現しました。その新参者が長い年月をかけて作られ

